



えがお 愛顔つなぐえひめ国体 みきゃん通信

問 鬼北町国体推進室 内線4203・4204

No.2

国体は、1946(昭和21)年に第1回大会が開催され、2017(平成29)年に開催されるえひめ国体は、第72回大会となります。国体は、47都道府県の持ち回り方式で開催されるため、現在は2巡目ですが、前回、愛媛県では、いつ国体が行われたか、知っていますか。答えは、1953(昭和28)年です。しかし、前回は四国4県での共同開催だったため、2017(平成29)年に行われるえひめ国体は、64年ぶりで、さらに初の単独開催となります。

大会の愛称は「愛顔つなぐえひめ国体」です。前向きな気持ちと思いやりの心が結集した、愛のある笑顔「愛顔」でおもてなしを実施し、選手、観客、運営を支えるスタッフなど、みんなが愛顔でつながる国体を目指しています。スローガンは「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」です。

スポーツが大好きな、えひめ国体マスコットの「みきゃん」が一緒に盛り上げます。

県民総参加のもと、遍路文化によって培われ、大切に受け継がれてきた「お接待」の心で、選手や観客をおもてなしするなど、全国から訪れる人々との交流を通じた地域の活性化が期待されています。



◀四国4県で共同開催された第8回国体のポスター

▼えひめ国体マスコット「みきゃん」



民泊の思い出

今回は、山口国体のホッケー競技で民泊を経験した愛媛県的女子高校生の感想をご紹介します。



民泊をすると初めて聞いたとき、正直本当は不安でした。しかし、民泊協力会のみなさんは「待ってました」と言いながら優しい笑顔で私たちを迎えてくださり、少しずつ緊張も解けました。歓迎会のときは「私たちは愛媛の味方です」と何度も言ってくださり、とても心強くなると同時に、絶対勝とうという気持ちも強くなっていきました。

また、1年以上も前から私たちの心に残るような日をつくろうと、試行錯誤を続け、町全体で楽

しみにしていたと聞き、感謝の気持ちで一杯になり、絶対勝とうという気持ちもより強くなりました。

結果は負けてしまったけれど、今回、勝つことよりも大切なことをたくさん学ぶことができました。いろいろな人に支えられてホッケーが出来ることに、改めて気付きました。愛媛国体では自分が歓迎する側に立ち、山口のみなさんのような最高の待遇をしたいです。

愛顔つなぐえひめ国体鬼北町実行委員会からのお知らせ

現在、行政区単位で民泊に関する説明会を実施しています。

民泊の実施には、町民の皆さんの協力が必要不可欠です。区長さん等から説明会のお話がありましたら、積極的に参加していただきますようお願いいたします。

また、国体に関する情報をフェイスブックでも発信していますので、ぜひご覧ください。



愛顔(えがお)つなぐえひめ国体鬼北町実行委員会

検索